

令和4年4月吉日

各 位

鳥羽市立海の博物館
三重県鳥羽市浦村町大吉 1731-68
TEL:0599-32-6006

企画展『大漁旗～漁村のにぎわいと海民の絆』

開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

海の博物館の活動に関しまして、日頃より一方ならぬご協力をいただきありがとうございます。

早速ですが、4月23日(土)より企画展『大漁旗～漁村のにぎわいと海民の絆』と題し、大漁旗の歴史や製造方法、図柄の特徴、現代的な大漁旗について、また荒波に挑む漁師の勇壮な姿や、海を超えてつながれてきた海民の絆、また生地やデザインを利用した新たな大漁旗の利用法などを紹介する企画展を開催することになりましたので、お知らせします。是非とも貴社にて、広く広報にご協力いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

記

【名称】 企画展『大漁旗～漁村のにぎわいと海民の絆』

【会期】 2022年4月23日(土)～2022年7月10日(日)

*会期中の休館日 2022年6月26日(日)～6月26日(木)

【場所】鳥羽市立海の博物館 特別展示室

【入館料】大人 800円、学生 400円

【展示内容】

大漁旗は、豊漁を得たことを帰港の際に示したり、正月などめでたい時季に海上安全や豊漁を願うため船に掲げられます。その起源は明確ではありませんが、少なくとも捕鯨では江戸時代に、得漁の印として旗をたてていたようです。

現在では、単に船を豪華に彩るための飾りのような印象を持たれがちですが、本来は陸で待つ家族や仲間到大漁や無事をはやく知らせたいという漁民の想い、一年を安全に、おおいにお金も稼げるようにという願い、船の新造時などに親しい相手、大事な相手に贈って、新たな門出を祝う心が詰まった、人と人の絆を強固にする大事なものです。

本展は大漁旗の製造方法や歴史、様々な役割を紹介しつつ、荒波に挑む漁師の勇壮な姿や海を超えてつながれてきた海民の絆、また生地やデザインを利用した、新たな大漁旗の利用方法、可能性についても知っていただく機会として企画しました。

1. 大漁旗ができるまで

大漁旗の歴史や製造方法、図柄の特徴などについて、製造道具類や動画、絵図などで解説します。

2. 大漁旗に込めた想い

大漁旗を使う祭礼の道具や、海民の交流を示す大漁旗、東日本大震災からの復興を願って贈られた旗などから、大漁旗に込められた人々の願いを感じていただけます。

3. 大漁旗ではえって、バズる

大漁旗の生地またはデザインを利用した雑貨、誕生祝として贈られた大漁旗などから、大漁旗文化の新たな展開を紹介します。